



ですが、実は…その布団を今も持っています！

全員 ええー!!

功刀 掛け布団だけは毎年洗って取っておいています。思いが詰まっているから捨てられなくて(笑)。入寮初日に部屋にポツンと置いてあった布団を見て泣いた記憶があります。3ヶ月くらいずっとホームシックでしたね。

関 会社辞める日までの日めくりカレンダー作っていたよね？

功刀 そうそう。もう絶対辞めてやるっていうくらい辛くて。でも入寮してから1週間ほど経ったときに、18歳の誕生日を迎えたのですが、私

がホームシックで泣いているときに…、ああ、思い出して泣きそう(涙ぐむ功刀さん)。他の班の子が私ともう一人の3月生まれの子を呼んで誕生日を祝ってくれたことがありました。出会って1週間しか経ってないのにお祝いしてくれたいのが嬉しくて、だから清美寮は本当に思い出の場所です。実は、3月14日の入寮日には毎年清美寮に来て

写真を撮っていました。来年からはそれができなくなってしまうのが寂しいです。

関 私は東京の青梅市出身で、入寮初日は両親に車で送ってもらってここまで来ました。そのとき、本来男性禁制の清美寮に、父が交渉して少し部屋を見せてもらうなんてことがありました。部屋は5階で、少し暗かったこともあり最初のうちは不安でしたが、慣れてくると毎日賑やかで楽しかったです。ただ、要領が悪かったので、毎日勉強部屋で次の日の勉強を必死にしています。それが辛くて辞めてしまったのですが、その後は添乗員として

はとバスで働いていた時期もあります。バスガイドとして働いた期間は短かったです。が、18歳という青春の時期をガイドとして過ごし、「元バスガイドをしていた」と話すとそれだけで会話が盛り上がることもあるので、とても良い経験をさせてもらったと感じています。

—東日本大震災直後の入寮

渡部 私は、震災があった2011年の入社で、3月11日はちょうどここに布団を置きに来た日でした。私も関さんと同じように、父が送迎をしてくれて、そのまま一緒に寮内も見学させてもらいました。見学を終えて帰ったあとに地震が来て、真っ先に「あの古い寮は大丈夫かな?」と思ひ、大家さんにご連絡をしました。すると「こちらは大丈夫です」と返って来たので、古いけど丈夫なのだなと思ひました(笑)。私は東京に住んでいたのですが、震災の被害を受けた地

域の子たちは何日か遅れて入寮しました。特に宮城県気仙沼市に住んでいた同期の子は10日遅れての入寮となり、はとバスに乗って、ここま

では来りました。**小熊** それニュースで見たかもしれないです!
渡部 ニュースでやっていましたね。その日私たちも初めてその子に会うことになったのですが、部屋の明かりを消してみんなでトンネルを作って「はじめまして!」と迎えました。**小熊** 当時のニュースを見て、はとバスは1人の子のためにバスを出してすごい!と思いました。

渡部 私も驚きました。寮内も見学させてもらいました。寮生活は何気ない日常も楽しかったですね。みんなとラウンジでご飯を食べたり、部屋ですつとお喋りしたり、同期の部屋で寝てしまったり、先輩に怒られたりなど(笑)。
色々起こり、色々学び
高橋 私は入寮初日に部屋を案内されたとき「あなたの

部屋は5階です」と言われて、「上がるの面倒くさいな」なんて思っていたのですが、案内されたのは階段を下った部屋で「どういうこと?」となりました(笑)。ただ、ラッキーなことと同じフロアは同期だけで、騒いでいても先輩に怒られることはありませんでした。ですが、当時5階にあったお風呂の隣の部屋だったので、先輩たちがお風呂に向かう途中に鼻歌を歌うのがよく聞こえて、初期研修で覚えることが沢山あったので、内心「うるさい!」と思っていました。あとは、お風呂のブレイカーが突然落ちたことがあって、悲鳴が聞こえたので電気を助けてくれたので、行ったり帰ってきたり、同期が炊飯器のお米をほつたらかしにしてカビを生えさせてしまったことなど、色々な思い出がありますね。

植田 私は冒頭にお話ししたように、入寮初日は畳の掃除から始まりました。実家が千葉だったので、なにかあればすぐに帰れると思っていたので、ホームシックになるこ

とはなかったです。初期研修の時期は、暗記しなくてはいけない言葉を同部屋の子とブツブツ言っていると、訳がわからなくなってしまうので、私が押し入れにこもって覚えるというスタイルが定着しました。その後1人部屋になったときも、相変わらず押し入れの中で寝ていました(笑)。2年生になった頃に、入寮するガイドが増えて、また相部屋にならなくなっていくのがよく聞かされてはいたのですが、1人部屋にすっかり慣れてしまっていたため、退寮することを決意しました。ただ、寮生活は本当に楽しかったなと思います。「研修のときも研修から帰ってきたときも「緒」という環境だからこそ、仲間との強い絆を作れたのだと思います。
小熊 喧嘩もするものもありましたけどね(笑)。
植田 ちょっととした言が相手に違う形で伝わってしまった、喧嘩になるなんてことはありませんでしたね。
でも、世間をあまり知らない18歳で入寮して、そこで